

進路だより

No. 10



新宿区立落合中学校

2021年9月15日(水)

充実した2学期にしよう！！

今年の夏休みは、昨年までとは違って勉強に力を入れた人が多かったことでしょう。ここからは進路先を決定しその目標に向かって学力を伸ばしていく時期となります。学習の計画をしっかりと立て、確実にやり遂げるようにしましょう。何もしない日々の積み重ねでは何も残りません。残るのは不安と後悔と苛立ちだけです。毎日、一步一步前に進んでいきましょう。そのことが自分の進路を切り拓いていくこととなります。

夏休みに説明会などに参加した人も多いと思います。最終決定をする前に、来年の4月から3年間通学する事を前提にもう一度進路希望先に足を運んでみることも大切です。何事にも進んで取り組み、クラスや学年の仲間とたくさんの思い出を作ってください。そして、「自分だけ」、「自分さえよければ」と自分の殻の中に入ってしまうのではなく、クラスや学年のみんなのことも考え、みんなで励まし合いながら進路を切り拓いていきましょう。

◇2学期の主な進路関係の予定(変更時は進路だよりなどで連絡いたします)

- 9月24日(金)高等学校の先生による出前授業
- 9月28日(火)29日(水)中間考査
- 9月30日(木)第2回自己診断テスト①～③(国語・数学・英語)
- 9月30日(木)第2回進路希望調査配布(10月14日提出締め切り)
- 10月1日(金)第2回自己診断テスト①、②(理科・社会)
午後：スピーキング・プレテスト(戸山高校)
- 10月8日(金)第2回進路説明会 落合中学校体育館
- 11月2日(火)～9日(火)進路面談
- 11月12日(金)第3回進路希望調査配布(11月24日提出締め切り)
- 11月16日(火)～18日(木)期末考査
- 12月2日(木)～8日(水)進路面談②
- 12月10日(金)受験写真撮影

※11月と12月の面談と平行して校長先生面接練習などが予定されています。

暑い、熱い、感動の夏でした！！

みなさんが毎日夏期講習や学習を一生懸命にしている夏休み。私は毎日読書とオリンピック、パラリンピックのテレビ中継に夢中になっていました。オリンピックでは柔道で声を枯らし卓球でも声を枯らし、ボルダリングを初めてじっくりと見て、試合の方法ややり方を知り、最後には空手の型にはまり、選手の涙にもらい泣き。やはり日本の伝統のものはいいなと感動の毎日を送りました。何でこんなに感動するんだろうと涙を流し、その感動も醒めやらぬまま、パラリンピックへ突入です。道徳の教科書で学んだパラリンピアンや落合中学校で毎年行われた車いすバスケットボールに注目して観戦しました。走り幅跳び、ドイツのマルクス・レーム選手。6回の跳躍の中で跳ぶ度に距離をのぼし、最後の跳躍では記録が出たかと思われましたが、ファール。それでも3大会連続金メダルということで、素晴らしい結果を残しました。会場のスタッフに感謝の気持ちのべたり、気さくな人柄に魅了されました。次は車いすテニスの国枝慎吾選手です。「俺は最強だ！！」「俺は最強だ！！」と準決勝の時には100回以上鏡に向かって叫んだそうです。最近では、ラケットに「俺は最強だ！！」の他に「笑顔のマーク」と「リラックス」とシールを貼ったそうです。優勝が決まったときの何とも言えない姿にまたまたも

らい泣きしました。そして、車いすバスケットボールです。毎年落合中学校にいらしてくれた元車いすバスケットボール日本代表三宅克己さんからは、「今年はすごくいいチームに仕上がっているから、先生絶対に見てね。」と言われていたのを思い出し、初戦からテレビの前で家族の冷めた視線を感じながらも、勝ち進むたびに感動し、応援していました。

鳥海選手の車いすさばきに驚きながらも、ローポインターや豊島キャプテンの素晴らしいプレー、初出場の若い現役体育大学生の選手のプレーに感動しながら、まさかの決勝へ。やはり、チーム力の高さを感じずにはいられませんでした。毎日テレビに向かって涙を流した熱い夏。こんなに人を感動させられるスポーツの力を心から感じた熱い夏でした。ちなみに今回の日本代表のキャプテン豊島選手も5年前に福島から落合中学校に来校し、講演を行ってくれました。それと共に、選手がインタビューに答えている後ろで一生懸命にコートを整備するボランティアの人、バックボード(ゴールのボード)を梯子に登ってひたすら丁寧に磨き、消毒しているボランティアの方々のひたむきな仕事ぶりにも、とても感動した夏でした。

9月5日にパラマソンを観戦しに行ったオリンピックスタジアムでもたくさんのボランティアの方々が沿道で手を振り、おもてなしをしてくださった姿に、とてもあたたかな気持ちになった夏のしめくくりでした。今回の大会の開催に関しては、いろいろな考えがあると思いますが、日曜日の夜に当選したオリンピックやパラリンピックのチケットを家で記念にプリントアウトすると、どれもとてもいい席が当たっていて、複雑な気持ちになったのは言うまでもありません。

一流の人の競技に向かう姿勢、生き方にとっても刺激を受けた夏でした。

～先輩から後輩たちへのメッセージ～

学校生活について

- ・理想像を一人決めて、それに近づけるような言動をとるといいと思います。後輩と友達、リラックスできる時間は大切にしましょう。笑顔と命を大切に。
- ・授業中の先生の話は、絶対に聞いておくべきだと思う。聞いていない時と聞いている時では復習した時やテスト前の学習の理解度、進むスピードが全く違う。だからノートを丁寧に書くよりは、先生の話はずっと聞いている方がいいと思う。2年生のうちに3年生の範囲を1教科か2教科すべて終わらせるといいかも。授業で復習ができ、テスト前に時間を他教科に使えるから。

進路について

- ・どんな高校が家から近いのか、その高校はどんな良さがあるかなどを3年生になるタイミングぐらいで調べ始めると進路決定までに余裕ができるのでオススメです。入りたい部活動が強い学校を見つけるのもいいと思う。口コミは本当に信用しない方がいいと思います。自分がその高校をどう思ったかが、進路を決める一番大切なことだと思います。

- ・早くやればやるほどあとで楽になるので、勉強も志望校も早くから取り組むといいと思います。クラスの雰囲気は明るく保つことを意識すると、自分も周りも楽になります。推薦合格者は周りに配慮した行動をした方がいいと思います。苦しいのも辛いのも自分だけじゃないので、周りにあたらないようにしましょう。夜食は八チミツ漬けのレモンとか、焼きおにぎりがオススメです。

- ・検定などはとった方がいいと思います。加点もそうですが、面接での話のネタになります。委員会や部活動はもちろん、将来の具体的なプランを立てておくのが好印象です。しっかりと準備しましょう。時にはユーモアを入れてもいいと思います。実際、面接官の方々にはうけました。

- ・自分に合う学校に行った方がいい。絶対に学校見学に行ってください。高校の先生の顔と名前を覚えられるくらいに学校に行った方がいい。